

## 2016年度決算の課別・事業別行政評価シートについて

町田市では、2012年4月から、市町村としては全国で初めて、複式簿記・発生主義による新公会計制度を導入し、全国的に先行した取り組みを進めてきました。

これにより、組織や事業単位で保有している資産・負債の情報や、フルコスト情報といった財務情報を迅速に把握することができるようになりました。

新公会計制度で明らかになったこれらの財務情報に、組織の使命や、事業の成果等の情報を交えた財務分析を行うことにより、事業の効率性や有効性の分析を行っています。昨年度に引き続き同種施設比較分析を行い、『平成28年度(2016年度)町田市課別・事業別行政評価シート』を作成しました。

### ■ 2016年度決算版の概要

(1) 作成対象 ( )は2015年度決算版

課別	事業別	会計別	計
110(110)	120(119)	3(3)	233(232)

(2) 新規作成の事業別行政評価シート

P.56、子どもセンター「まあち」運営事業(児童青少年課)

### ■ 2016年度決算版の特徴点

(1) 単位あたりコストが対前年度比で改善した事業の割合が上昇

76事業/134事業 ⇒ 56.7%

(参考 2015年度決算版:68事業/128事業 ⇒ 53.1%)

(2) 事業の成果が向上

行政評価シートは、PDCAサイクルの“C”にあたります。行政評価シートで様々なマネジメント上の課題を明らかにし、その課題を解決できるように予算に反映し、課題解決、市民サービスや事業の成果の数値向上につなげました。

### ■ ダイジェスト版の概要

(1) 作成対象

15事業(2015年度決算版 13事業)

(2) 新規作成の事業別行政評価シートダイジェスト

P.6、子どもセンター「まあち」運営事業(児童青少年課)

P.20、成人健診事業(健康推進課)